

講義名	社会統計学			授業形態	
担当教員	栗田 真樹	開講期・曜日・時限	前期 木曜日 5 時限		
		単位数	2	履修開始年次	2 年生

主題と概要

統計学は現象の分析や予測には不可欠なものであり、様々な領域において統計的方法が用いられている。統計的方法を現実問題に適用することにより、課題もっている意味を統計的な考え方で解明することができる。近年、パソコン用の統計ソフトの普及やエクセルなどの表計算ソフトへの統計機能の搭載により手軽に統計的方法を利用できる環境が整いつつあり、それに伴い統計的なものの見方や統計的方法への認識が高まってきている。本授業では、統計的なものの考え方を理解するとともに、現実の問題に統計的手法を適用するうえで必要な基礎知識の習得を目的とする。そこでまず、データから情報を取り出す方法について学習する。つきに代表値、散布度、データをグラフや散布図にして視覚的に捉える方法、相関係数、回帰の意味について学習していく。

到達目標

- ・統計的な考え方を身につけることができる
- ・統計学の基礎的な知識を修得することができる

提出課題

毎回、授業の復習問題を授業中課題とする予定。
授業による学習のうえ、課題を提出すること。授業への出席、課題提出がない場合、平常点が低くなるので注意すること。

期末期には、筆記試験を予定している。

明らかな他者のコピー&ペーストについては問与した全員を0点とし、関係自所に報告するので注意すること。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

前回課題について、その次の回で講評・解説する。

評価の基準

平常時の授業内課題と期末試験（筆記試験）の結果を30対70のウェイトで評価する。

履修にあたっての注意・助言他

授業を受けるに当たり数学的な予備知識はある程度必要となるので自高校までの数学を復習しておくこと。授業では自分が電卓を使って簡単な問題を解くことにより、授業内容の理解が深まるようにしている。定めて、授業には電卓の使用が必須となる。また筆記試験においても電卓必須とする。平常の授業ではスマホ等の電卓アプリが使用可能であるが定期試験では使用できないので、自電卓を準備すること。また表計算ソフトを利用すると効率的に統計処理することができるので、情報処理関係の科目を併せて履修することを推奨している。

教科書

・『初等統計学』（第4版）	P. G. ホール（浅井晃、村上正康 共訳）	培風館	2630	4563008397
---------------	------------------------	-----	------	------------

参考図書

・なし				

その他

授業中にプリントを配布する。

授業計画

- 統計的方法とは
予習：事前配布プリントによる学習（2時間）
復習：授業内容の学習（2時間）
- さまざまな統計資料
予習：事前配布プリントによる学習（2時間）
復習：授業内容の学習（2時間）
- データの記述1（度数分布とヒストグラム）
予習：事前配布プリントによる学習（2時間）
復習：授業内容の学習（2時間）
- データの記述2（代表値）
予習：事前配布プリントによる学習（2時間）
復習：授業内容の学習（2時間）
- データの記述3（分散）
予習：事前配布プリントによる学習（2時間）
復習：授業内容の学習（2時間）
- データの記述4（標準偏差）
予習：事前配布プリントによる学習（2時間）
復習：授業内容の学習（2時間）
- グラフの読み方と作り方1（基礎）
予習：事前配布プリントによる学習（2時間）
復習：授業内容の学習（2時間）
- グラフの読み方と作り方2（応用）
予習：事前配布プリントによる学習（2時間）
復習：授業内容の学習（2時間）
- 因果関係と相関係数1（基礎）
予習：事前配布プリントによる学習（2時間）
復習：授業内容の学習（2時間）
- 因果関係と相関係数2（応用）
予習：事前配布プリントによる学習（2時間）
復習：授業内容の学習（2時間）
- クロス集計表1（基礎）
予習：事前配布プリントによる学習（2時間）
復習：授業内容の学習（2時間）
- クロス集計表2（応用）
予習：事前配布プリントによる学習（2時間）
復習：授業内容の学習（2時間）
- 統計ソフトの使い方1（基礎）
予習：事前配布プリントによる学習（2時間）
復習：授業内容の学習（2時間）
- 統計ソフトの使い方2（応用）
予習：事前配布プリントによる学習（2時間）
復習：授業内容の学習（2時間）
- まとめ

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

- ・社会の仕組みや働き、日常生活と文化、人々の心理など、現実社会の様々なテーマに取り組み、よりよい人間社会を創造することができる。
- ・統計調査やフィールドワークなどの実証的な調査研究の方法、コミュニケーション能力を身につけ、それらを社会貢献活動、ビジネス、援助に実践的に活用することができる。

以上の学部のディプロマポリシーを達成するために統計学に関する基礎的な知識を提供し、実践的に活用できる能力を修得します。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

教材はPDF等でキャンパスクロスにもアップロードする予定。アプリとしてはRespon等のクリッカー（出席・課題等のコミュニケーション）を利用する予定である。これらについての詳細は授業内で案内する。

実務経験の有無及び活用

実務経験あり
専門社会調査士資格を有しており、行政、企業の委託を受けて複数の社会調査の企画、実施、データ解析を行った経験がある。授業においてはデータ解析事例を紹介、活用する予定である。

備考

授業への出席、課題が提出されない場合は、平常点が低くなるので注意すること。